

いきものみっけ隊通信



「イノシヤタヌキなどの野生動物の痕跡を探そう！」

「森のがっこう いきものみっけ隊」第7回目の活動報告です。アクトランドの森には、イノシヤやノウサギ・ヤマドリなどの動物や、カキやクヌギなど植物が生息しています。今回はその動植物の痕跡（落とし物）探しがテーマです。じっとしている物を上手に見つけられたかな？それでは活動報告スタートです。



早朝から雨が降っていましたが、開会式の時には野鳥が鳴き始め「もうすぐ雨は上がるよ」と教えてくれました。最初に、この森で見つかった痕跡の紹介です。黄緑色のマユ（ウスタビガ）やリスやアカネズミが齧ったオニグルミ・イノシシの頭骨などがあります。それを見た子供たちは「絶対に見つける」とかなり意気込んでいます。そうこうしているうちに、雨が上がり生き物の痕跡探しのスタートです。開始時はなかなか見つかりません。しばらくするとクヌギの森でリスの食痕（オニグルミ）を発見！だんだん目が慣れてきたようであちらこちらで見つかります。11時過ぎから雨が降ってきて痕跡探しはここで終了です。



お昼ごはんは、スタッフ特製のイワシのつみれ汁と、リーダーと協力してついたおいしいお餅です。



午後からは、子供達が見つけてくれた痕跡の発表です。リスの食痕（オニグルミ）とノウサギの糞が沢山見つかりました。なかには、ローソクのロウの材料にもなるセンダンの実を捨ってくる子も！その後は、オニグルミの殻で神経衰弱をして遊びました。殻の色や形はほとんど同じだけれど、みんなの観察眼で上手に相手を探して遊びました。



今回のおやつは、リスやアカネズミの栄養源、野生のオニグルミです。まずは、クルミを煎ります。しばらくすると殻と殻の間に隙間ができ、そこに包丁を入れて割ります。リーダーに協力してもらい上手く割ることができました。中にある実を取り出し、ふわふわせんべいに挟んで食べました。

そうこうしているうちに活動はおしまいです。今回も、自然の木の実に遊んだりその恵みを頂くことができる貴重な活動となりました。（記・多田）



スタッフのつぶやき

冬の森は閑散としているかもしれませんが、生き物の中には冬に活動が盛んになるものもいます。両生類で例を挙げるとカスミサンショウウオやアカガエル・ヒキガエルです。驚くかもしれませんが、生駒山系にも生息しています。オスは今の時期になると水際でメスを待ち構え、産卵は池や浅い水溜りなどで行います。野外では姿を見せることはほとんどありませんが、産み付けた卵は観察できますので、是非この時期に冬の生き物探しに出てみてはいかがでしょうか。（記・多田）

★次回（3/4）のプログラム★

回りのテーマは「終わりの式 カブト虫の幼虫など 春を待つ昆虫を探そう！」です。アリやテントウムシなどの動き出した昆虫を探します。また、11月に仕掛けたコモを外し、越冬こんちゅうを観察します！